

# 精神看護学

## 目標 I

精神保健の基本と保持・増進に向けた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
1 精神保健の基本	A. 精神の健康の概念	精神の健康の定義	精神看護学① 序章-II-A 精神の健康とは (P6), II-B 精神の健康を支える要因 (P7), <別巻>ヘルス5章-II-A 精神の健康 (P258)	
		精神障害の一次予防・二次予防・三次予防	精神看護学① 序章-III-C 地域精神保健における第一次予防, 第二次予防, 第三次予防 (P14)	112-PM-88 111-AM-65 109-PM-67
	B. 心の機能と発達 110-PM-110	精神と情緒の発達	精神看護学① 1章-II-B 深層心理学: 欲動論 (P50), 2章 精神 (心) の発達に関する主要な考え方 (P71)	
		自我の機能	精神看護学① 1章-II-C 自我心理学: 自我の防衛機制 (P53)	
		防衛機制	精神看護学① 1章-II-C 自我心理学: 自我の防衛機制 (P53), 精神看護学② 6章-I-A-1-6 自我の防衛機制とアセスメント (P229), I-A-表6-4 精神疾患をもつ人の自我の防衛機制的表現 (P230)	111-AM-85 109-PM-65
		精神力動	精神看護学① 1章-II-A 精神力動理論とその派生理論 (P46), 精神看護学② 4章-IV-3-4 精神力動的な精神療法 (精神分析) (P182)	
		転移感情	精神看護学① 1章-II-A-3 自由連想法 (P48), 精神看護学② 5章-I-D-1-2 転移 (P204), I-D-2 看護師側に生じる態度と対処 (P205)	
	C. 精神の健康に関 する普及啓発	精神保健医療福祉の改革ビジョン	精神看護学② 8章-I-A-1 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム (P356), II-C-1 長期入院患者の地域生活移行支援の背景・経緯 (P386), II-C-2 長期入院患者の地域生活移行にかかわる方向性 (P386), II-C-2-表8-7 長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策の今後の方向性 (概要) (P387)	109-AM-65
		偏見、差別、スティグマ	精神看護学② 1章-II-A スティグマ (P5), II-B 障害者差別の解消に向けて (P8)	
		自殺対策	精神看護学① 6章-II-G-5 自殺への対策/対応 (P198), 精神看護学② 7章-I-C 自殺・自殺企図・自傷行為 (P261)	
	D. 危機<クライシス>	危機<クライシス>の概念	精神看護学① 5章-I 危機とは何か? (P150)	
		危機<クライシス>の予防	基礎看護学④ 3章-II-D-4-2 ▶社会的支持が得られること (P65), II-D-4-2 ▶患者の対処機制を発揮させること (P65)	109-PM-66
		危機介入	精神看護学① 5章-I-2-3 災害時の心理的危機 (P152), IV-2 ストレスマネジメント (P167), IV-3 アンガーマネジメント (P168), IV-4 コーチング (P169)	111-PM-109 110-PM-112
		ストレスと対処	精神看護学① 5章-II ストレスとコーピング (P153), III 適応と不適応 (P163), IV 精神 (心) の健康のためのセルフマネジメント (P165)	110-AM-33
		適応理論	精神看護学① 5章-II-2 心理学的ストレスモデルとストレスコーピング (P158)	
	E. 災害時の精神保健	災害時の精神保健医療活動	精神看護学② 9章-III 災害時の精神看護 (P467), 統合と実践② 災害看護学 7章 災害時のメンタルヘルス (P184)	112-PM-62

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
1 精神保健の基本	E. 災害時の精神保健	災害時の精神保健に関する初期対応	精神看護学② 9章-Ⅲ-B-2 災害派遣精神医療チーム(DPAT)(P471), Ⅲ-B-3 心理的応急処置(PFA)(P472)	
		災害派遣精神医療チーム(DPAT)	精神看護学② 9章-Ⅲ-2 災害派遣精神医療チーム(DPAT)(P471)	
災害時の精神障害者への治療継続		精神看護学② 9章-Ⅲ-C 被災した精神障害者への支援(P475)		
F. 精神の健康とマネジメント		心身相関と健康	精神看護学① 序章-II-A-3 心身一如と精神的健康(P7), 精神看護学② 9章-I-A リエゾン精神看護とは(P428)	
		身体疾患がある者の精神の健康	精神看護学② 9章-I-A リエゾン精神看護とは(P428), I-B-1 直接ケア(実践)(P430), I-B-2 コンサルテーション(相談)(P433)	
		精神疾患がある者の身体の健康	精神看護学② 2章-II-A 診察(P43), 9章-I-B-1 直接ケア(実践)(P430), I-B-2 コンサルテーション(相談)(P433)	
		患者と家族の精神の健康	精神看護学② 9章-I-B-1 直接ケア(実践)(P430)	
		保健医療福祉に従事する者の精神の健康	精神看護学② 9章-I-B-2 コンサルテーション(相談)(P433), I-B-3 コーディネート(調整)(P434), I-B-7 看護師のメンタルヘルスケア(P436)	
		トラウマインフォームド・ケア(TIC)、逆境体験	精神看護学② 3章-II-A-4 注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害(P68)	
		性の健康に関連する状態	母性看護学① 3編-1章-I-D-1-4-④ トランスジェンダー(性同一性障害/性別違和/性別不合)(P210)	

## 目標Ⅱ

主な精神疾患・障害の特徴と看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
2 主な精神疾患・障害の特徴と看護	A. 症状性を含む器質性精神障害	症状と看護	精神看護学② 3章-II-M-1 せん妄(P130), II-M-2 認知症(P131), II-M-3 認知症の疾患・原因(P134), II-M-4 軽度認知障害(P137), 7章-II-F 認知症(P310)	112-PM-113▲ 110-PM-62 108-AM-66
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学② 3章-II-M-1 せん妄(P130), II-M-2 認知症(P131), II-M-3 認知症の疾患・原因(P134), II-M-4 軽度認知障害(P137), 7章-II-F 認知症(P310)	
		薬物療法と看護	精神看護学② 3章-II-M-1 せん妄(P130), II-M-2 認知症(P131), II-M-3 認知症の疾患・原因(P134), 7章-II-F 認知症(P310)	
	B. 精神作用物質使用による精神・行動の障害 110-PM-109	症状と看護 頻出	精神看護学② 3章-II-L-② 症状(P125), 7章-II-E アルコール依存症(P305)	111-PM-66 110-PM-111 109-PM-112, 113, 114
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学② 3章-II-L-④ 検査(P129), 7章-II-E アルコール依存症(P305)	
		薬物療法と看護	精神看護学② 3章-II-L-⑤ 治療(P129), 7章-II-E アルコール依存症(P305)	
	C. 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	症状と看護	精神看護学② 2章-I-2-3 思考の障害(P28), 2章-I-2-5-③ 緊張病症候群(P34), 3章-II-B-1-③ 症状/状態(P72), II-B-2-① 症状/状態(P76), II-B-3 緊張病(P77), 7章-II-A 統合失調症(P274), II-B 妄想性障害(P288)	111-AM-118 109-AM-66 108-PM-109

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
2 主な精神疾患・障害の特徴と看護	C. 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	臨床検査および心理検査と看護	精神看護学② 2章-II-A-2-表2-9 代表的精神疾患におけるフィジカルアセスメント (P45), II-B 一般検査・画像検査 (P47), II-C 心理検査 (P55), 7章-II-A 統合失調症 (P274), II-B 妄想性障害 (P288)	
		薬物療法と看護	精神看護学② 3章-II-B-1-⑥ 治療/支援 (P73), II-B-2-② 治療/支援 (P76), II-B-3 緊張病 (P77), 4章-I 薬物療法 (P152), 7章-II-A 統合失調症 (P274), II-B 妄想性障害 (P288)	
	D. 気分(感情)障害	症状と看護	精神看護学② 3章-II-B-3 緊張病 (P77), 2章-I-2-4 感情の障害 (P32), 3章-II-C-③ 症状 (P79), II-D-1-④ 症状/状態 (P83), 7章-II-C 双極性障害 (P294), II-D うつ病 (P300)	111-AM-62 ▲ 110-PM-113 108-PM-112, 113
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学② 2章-II-A-2-表2-9 代表的精神疾患におけるフィジカルアセスメント (P45), II-C 心理検査 (P55), 3章-II-C-⑤ 検査/診断 (P80), II-D-④ 症状/状態 (P83), 7章-II-C 双極性障害 (P294), II-D うつ病 (P300)	
		薬物療法と看護	精神看護学② 3章-II-C-⑥ 治療 (P80), II-D-⑤ 治療/支援 (P84), 4章-I 薬物療法 (P152), 7章-II-C 双極性障害 (P294), II-D うつ病 (P300)	
	E. 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	症状と看護 頻出	精神看護学② 2章-I-2-3-③ 思考体験の異常 (P31), I-2-6 自我意識の障害 (P35), 3章-II-E-③ 症状 (P89), II-F-1-⑤ 症状 (P95), II-G-1-④ 診断/症状 (P100), II-G-2 急性ストレス障害 (ASD) (P102), II-G-3-② 症状 (P102), II-H-③ 症状 (P106), II-I-1-① 疾患概念/症状 (P108), II-I-2-① 疾患概念/症状 (P109), II-I-3-① 疾患概念/症状 (P110), II-I-4 ほかの医学的疾患に影響する心理的要因 (P111), II-I-5-① 疾患概念/症状 (P111), 7章-III-C 強迫性障害 (P328)	111-AM-89 109-PM-110 108-AM-112, 113, 114
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学② 2章-II-C 心理検査 (P55), 3章-II-E-⑤ 検査/診断 (P91), II-F-1-④ 病因 (P95), II-G-1-④ 診断/症状 (P100), II-G-3-① 診断 (P102), II-H-⑤ 診断 (P107), 7章-III-C 強迫性障害 (P328)	
		薬物療法と看護	精神看護学② 3章-II-E-⑥ 治療 (P92), II-F-1-⑦ 治療 (P96), II-G-1-⑤ 治療/支援 (P100), II-G-3-③ 治療/支援 (P103), II-H-⑥ 治療/支援 (P107), II-I-1-③ 治療 (P109), II-I-2-③ 治療 (P110), II-I-3-③ 治療 (P111), 7章-III-C 強迫性障害 (P328)	
	F. 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 108-PM-62	症状と看護	精神看護学② 2章-I-2-9 睡眠の障害 (P36), 3章-II-J-③ 症状 (P114), II-K-1-① 概要 (P119), II-K-2-② ナルコレプシーの4主徴 (P121), 7章-III-D 神経性やせ症摂食制限型 (P333)	111-AM-109, 110, 112, 113
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学② 2章-I-2-9-② 不眠 (P36), II-A-2-表2-9 代表的精神疾患におけるフィジカルアセスメント (P45), 3章-II-J-① 疾患概念/定義 (P112), II-K-1-⑤ 不眠障害の治療 (P120), II-K-2-④ 診断 (P122), 7章-III-D 神経性やせ症摂食制限型 (P333)	
		薬物療法と看護	精神看護学② 3章-II-J-⑤ 治療 (P116), II-K-1-⑤ 不眠障害の治療 (P120), II-K-2-⑤ 治療 (P122), 4章-I 薬物療法 (P152), 7章-III-D 神経性やせ症摂食制限型 (P333)	
	G. パーソナリティ障害	症状と看護	精神看護学② 3章-II-N-① 疾患概念/定義 (P137)	109-PM-68

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
2 主な精神疾患・障害の特徴と看護	G. パーソナリティ障害	臨床検査および心理検査と看護	精神看護学② 3章-II-N-② 診断 (P139)	
		薬物療法と看護	精神看護学② 3章-II-N-③ 治療 (P139)	
	H. 習慣および衝動の障害	症状と看護	精神看護学② II-F-2 ためこみ症 (P98), II-F-3 醜形恐怖症/身体醜形障害 (P98), II-F-4 抜毛症 (P98), II-F-5 皮膚むしり症 (P98)	108-PM-110
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学② II-F-2 ためこみ症 (P98), II-F-3 醜形恐怖症/身体醜形障害 (P98)	
		薬物療法と看護	精神看護学② II-F-2 ためこみ症 (P98), II-F-3 醜形恐怖症/身体醜形障害 (P98)	
	I. 知的障害(精神遅滞) 108-PM-61	症状と看護	精神看護学② 3章-II-A-1-1-③ 症状/状態 (P65)	
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学② 3章-II-A-1-1-③ 症状/状態 (P65)	
		薬物療法と看護	精神看護学② 3章-II-A-1-1-④ 治療/支援 (P65)	
	J. 心理的発達の障害	症状と看護	精神看護学② 3章-II-A-2 コミュニケーション症群/コミュニケーション障害群 (P66), II-A-3-③ 症状/状態 (P67), II-A-5 限局性学習症/限局性学習障害 (P70), II-A-6-1 発達性協調運動症/発達性協調運動障害 (P70), 7章-III-A 自閉症スペクトラム障害 (P316)	109-AM-112, 113, 114▲ 108-AM-67
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学② 3章-II-A-2 コミュニケーション症群/コミュニケーション障害群 (P66), II-A-3-③ 症状/状態 (P67), II-A-5 限局性学習症/限局性学習障害 (P70), II-A-6-1 発達性協調運動症/発達性協調運動障害 (P70)	
		薬物療法と看護	精神看護学② 3章-II-A-2 コミュニケーション症群/コミュニケーション障害群 (P66), II-A-3-④ 治療/支援 (P68), II-A-5 限局性学習症/限局性学習障害 (P70), II-A-6-1 発達性協調運動症/発達性協調運動障害 (P70)	
	K. 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害	症状と看護	精神看護学② 3章-II-A-4-③ 症状/状態 (P69), II-A-6-2 常同運動症/常同運動障害 (P70), II-A-6-3-③ 症状 (P71), II-G-4 その他の心的外傷およびストレス因関連障害 (P104), 7章-III-B 注意欠如・多動性障害 (P322)	112-AM-65 110-AM-112
臨床検査および心理検査と看護		精神看護学② 3章-II-A-4-③ 症状/状態 (P69), II-A-6-2 常同運動症/常同運動障害 (P70), II-A-6-3-③ 症状 (P71), II-G-4 その他の心的外傷およびストレス因関連障害 (P104), 7章-III-B 注意欠如・多動性障害 (P322)		
薬物療法と看護		精神看護学② 3章-II-A-4-④ 治療/支援 (P69), II-A-6-2 常同運動症/常同運動障害 (P70), II-A-6-3-④ 治療/対応 (P71), II-G-4 その他の心的外傷およびストレス因関連障害 (P104), 7章-III-B 注意欠如・多動性障害 (P322)		

## 目標Ⅲ

# 精神看護の対象の理解と支援のための概念について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
3 精神看護の対象の理解と支援のための概念	A. 援助関係の構築 112-AM-114	信頼関係の基礎づくり	精神看護学② 5章-I-A-2 信頼関係はどのようにして構築されるか (P195), I-C 関係構築にあたっての基本的な態度 (P199)	109-PM-109
		患者－看護師関係の発展と終結	精神看護学② 5章-I-A-3 「患者-看護師」関係が目指す方向 (P196), I-D 患者とのかかわりで起こり得ることと対処 (P202), 6章-II 精神障害をもつ人のセルフケアの援助 (P238), III 精神障害をもつ人のセルフマネジメント (自己管理) (P247)	
		プロセスレコードの活用 共同意思決定、共同創造(コプロダクション)	精神看護学② 5章-III 精神障害をもつ人との関係の振り返り (P215) 精神看護学② 6章-I-A-3 看護計画 (P233)	112-PM-110
	B. セルフケアへの援助 112-PM-109 110-AM-114 108-PM-111	食物・水分の摂取	精神看護学② 6章-II-B-1-表6-11 アンダーウッドによる普遍的セルフケア領域 (P242), II-B-3 退院時におけるセルフケアの援助 (P246), 7章-II 事例で学ぶ: 精神疾患/障害をもつ人への看護 (P274), III 事例で学ぶ: 精神疾患/障害をもつ子どもへの看護 (P316)	
		呼吸	精神看護学② 6章-II-B-1-表6-11 アンダーウッドによる普遍的セルフケア領域 (P242), 7章-II 事例で学ぶ: 精神疾患/障害をもつ人への看護 (P274), III 事例で学ぶ: 精神疾患/障害をもつ子どもへの看護 (P316)	
		排泄	精神看護学② 6章-II-B-1-表6-11 アンダーウッドによる普遍的セルフケア領域 (P242), 7章-II 事例で学ぶ: 精神疾患/障害をもつ人への看護 (P274), III 事例で学ぶ: 精神疾患/障害をもつ子どもへの看護 (P316)	
		清潔と身だしなみ	精神看護学② 6章-II-B-1-表6-11 アンダーウッドによる普遍的セルフケア領域 (P242), 7章-II 事例で学ぶ: 精神疾患/障害をもつ人への看護 (P274), III 事例で学ぶ: 精神疾患/障害をもつ子どもへの看護 (P316)	
		活動と休息	精神看護学② 6章-II-B-1-表6-11 アンダーウッドによる普遍的セルフケア領域 (P242), II-C-1 急性期におけるセルフケアの援助 (P244), 7章-II 事例で学ぶ: 精神疾患/障害をもつ人への看護 (P274), III 事例で学ぶ: 精神疾患/障害をもつ子どもへの看護 (P316)	
		対人関係	精神看護学② 6章-II-B-1-表6-11 アンダーウッドによる普遍的セルフケア領域 (P242), II-C-2 回復期におけるセルフケアの援助 (P245), 7章-II 事例で学ぶ: 精神疾患/障害をもつ人への看護 (P274), III 事例で学ぶ: 精神疾患/障害をもつ子どもへの看護 (P316)	
		安全	精神看護学② 6章-II-B-1-表6-11 アンダーウッドによる普遍的セルフケア領域 (P242), 7章-II 事例で学ぶ: 精神疾患/障害をもつ人への看護 (P274), III 事例で学ぶ: 精神疾患/障害をもつ子どもへの看護 (P316)	112-PM-84
	C. 生きる力と強さに着目した援助 112-AM-66	レジリエンス	精神看護学② 3章-II-G-2 急性ストレス障害 (ASD) (P102), 6章-I-column ストレスとレジリエンス (P236), 9章-III-A-3 災害ストレスへの影響要因 (P469)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
3 精神看護の対象の理解と支援のための概念	C. 生きる力と強さに着目した援助	リカバリ(回復)	精神看護学① 序章-Ⅲ-D リカバリーを機軸とした精神医療 (P15), 精神看護学② 1章-Ⅳ-4 リカバリー概念: 当事者の主体的な自分の人生への関与 (P19), 4章-Ⅲ-1-2-① リカバリーの理念とストレンクスへの注目 (P171), 5章-I-A-3 「患者-看護師」関係が目指す方向 (P196), 6章-Ⅲ-B-2 構造化されたプログラム (P250), 8章-I-B-3-④ ACT (P367), I-D 当事者の力量を生かす相互支援 (P371)	
		ストレンクス(強み、力)	精神看護学① 5章-II-2-⑧ ストレンクス (P163), 精神看護学② 4章-Ⅲ-1-2-① リカバリーの理念とストレンクスへの注目 (P171), 6章-I-A-2-2 精神障害をもつ人に適用される看護診断とストレンクス (P232), I-A-3 看護計画 (P233), 8章-II-C-4-2-② 患者と共に退院支援計画を具体化 (P392)	
		エンパワメント	精神看護学② 6章-I-A-3 コラム エンパワメントとパワレス (P233), 8章-I-D 当事者の力量を生かす相互支援 (P371)	

## 目標Ⅳ

精神疾患・障害がある者の生物・心理・社会的側面に注目した、多角的なアセスメントに基づく看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
4 精神疾患・障害がある者とその家族への看護	A. 脳の仕組みと精神機能	脳の部位と精神機能	精神看護学① 1章-I 脳の構造と認知機能 (P28)	110-AM-62
		神経伝達物質と精神機能・薬理作用	精神看護学① 1章-I-A-1 神経組織 (P28), 5章-II-1-3 ストレス反応 (P155), 精神看護学② 4章-I-3-1-② 統合失調症のドパミン仮説と抗精神病薬の作用機序 (P154)	
		ストレス脆弱性	精神看護学② 3章-II-B-1-5 発症機序 (P73)	
		脳と免疫機能	精神看護学① 1章-I-A-2 中枢神経 (P29), 5章-II ストレスとコーピング (P153)	
		睡眠と概日リズム<サーカディアンリズム>	精神看護学② 2章-I-2-9 睡眠の障害 (P36), I-2-9-④ 概日リズム睡眠-覚醒障害 (P37)	
	B. 心理・社会的療法	個人精神療法	精神看護学② 4章-Ⅳ-3 精神療法各論 (P180)	111-AM-66 109-PM-111
		集団精神療法、集団力動	精神看護学② 4章-Ⅳ-3-17 集団精神療法 (P186)	
		心理教育的アプローチ	精神看護学② 4章-Ⅲ-2-4 心理教育 (P176), Ⅲ-2-column IMR (P173)	
		認知行動療法	精神看護学① 1章-II-F 理論の意義と限界, 発展 (P68), 精神看護学② 4章-Ⅳ-3-3 認知行動療法 (P181), 9章-II-B-2-6-② 感情のコントロールに向けたアプローチ (P458)	
		生活技能訓練<SST>	精神看護学② 4章-Ⅲ-2-3 社会生活技能訓練 (SST) (P174)	
	C. B以外の治療法	電気けいれん療法	精神看護学② 4章-II 電気けいれん療法 (P167)	111-PM-89
	D. 身体状態に関する看護	身体合併症のある患者の看護	精神看護学② 7章-Ⅳ 事例で学ぶ: 身体疾患を合併している患者への看護 (P337)	
		フィジカルアセスメントとケア	精神看護学② 2章-II-A-2 精神科看護におけるフィジカルアセスメント (P44)	
	E. 家族への看護 111-AM-114	家族のストレスと健康状態のアセスメント	精神看護学② 8章-Ⅲ-A 精神障害の家族への影響 (P413)	
		家族の対処力とソーシャルサポートのアセスメント	精神看護学② 8章-Ⅲ-A 精神障害の家族への影響 (P413)	
家族システムのアセスメント		精神看護学② 8章-Ⅲ-A 精神障害の家族への影響 (P413)		

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
4 精神疾患・障害がある者とその家族への看護	E. 家族への看護	家族への教育的介入と支援	精神看護学② 4章-IV-3-18 家族療法 (P187), 8章-III-B 家族への支援 (P417)	111-AM-119
		患者-家族関係の調整	精神看護学② 8章-III-A-1 家族によるケア提供 (P413), III-A-3 家族それぞれの立場からみた体験 (P415), 9章-I-A-2 リエゾン精神看護とは (P429)	111-PM-67 110-AM-113
	F. 社会復帰・社会参加への支援 109-AM-114▲	リハビリテーションの概念	精神看護学② 4章-III-1 精神科リハビリテーション (P171)	
		国際生活機能分類<ICF>	精神看護学② 1章-IV-2 生活機能モデル: 国際障害分類から国際生活機能分類への変遷 (P16), 3章-I-4 国際生活機能分類 (ICF) (P63)	
		入院患者の退院支援、地域移行・地域定着支援	精神看護学② 8章-II-C 長期入院患者の地域生活への移行支援 (P386)	111-PM-111 108-PM-64
	G. 精神保健医療福祉に関する社会資源の活用と調整 110-PM-114▲	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム	精神看護学② 8章-I-A-1 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム (P356)	
		精神科デイケア、精神科ナイトケア	精神看護学② 8章-I-B-2-2 精神科デイケア/ナイトケア/デイ・ナイト・ケア/ショートケア (P365)	111-AM-120
		精神科訪問看護、訪問看護	精神看護学② 8章-I-B-2-3-③ 訪問看護 (P367), II-D 訪問看護をととした地域生活支援 (P396)	
		精神科外来看護	精神看護学② 8章-I-B-2 生活の場を中心とする疾病管理 (P365)	
		アウトリーチ	精神看護学② 3章-II-B-1-⑦ 治療の課題 (P74), 8章-I-2-3 在宅医療 (P366)	
		行政との連携(保健所、市町村、精神保健福祉センター)	精神看護学② 8章-II-B 多職種連携による地域生活支援 (P381)	110-PM-114▲
	H. 社会資源の活用とケアマネジメント 110-AM-61 108-PM-114	精神疾患・障害者ケアマネジメントの基本的考え方	精神看護学② 8章-I-B-1 生活の場づくりと日々の生活の立て直し (P363)	
		社会資源の活用とソーシャルサポート	精神看護学① 4章-III-3-3 ソーシャルキャピタル (P146), 精神看護学② 8章-I-C 社会参加への支援 (P368), I-E 誰もが暮らしやすい地域づくり (P374), II-B 多職種連携による地域生活支援 (P381)	110-AM-31
セルフヘルプグループ、家族会		精神看護学② 8章-I-D 当事者の力を生かす相互支援 (P371)	112-AM-120	
自立支援医療		精神看護学② 8章-I-A-2-表 8-3 障害者総合支援法による自立支援給付および地域生活支援事業(つづき①) (P362), I-B-2-4 自立支援医療 (P368)	112-AM-67	
居宅介護(ホームヘルプ)、同行援護および行動援護		精神看護学② 8章-I-A-2 障害者総合支援法による自立支援給付と地域生活支援事業 (P359), I-B-1-2 支援を活用した日常生活の立て直し (P364)		
重度訪問介護		精神看護学① 7章-II-2-3 障害者総合支援法 (P251), 精神看護学② 8章-I-A-2 障害者総合支援法による自立支援給付と地域生活支援事業 (P359)		
生活介護		精神看護学② 8章-I-A-2 障害者総合支援法による自立支援給付と地域生活支援事業 (P359)		
短期入所(ショートステイ)		精神看護学② 8章-I-A-2 障害者総合支援法による自立支援給付と地域生活支援事業 (P359)	111-AM-111	
生活訓練		精神看護学② 8章-I-A-2 障害者総合支援法による自立支援給付と地域生活支援事業 (P359)		
就労移行支援		精神看護学② 8章-I-A-2 障害者総合支援法による自立支援給付と地域生活支援事業 (P359), I-C-2 就労への準備と継続支援 (P370), II-E 就労支援 (P404)	112-PM-64 111-AM-67	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
4 精神疾患・障害がある者への家族への看護	H. 社会資源の活用とケアマネジメント	就労継続支援A型・B型	精神看護学② 8章-I-A-2 障害者総合支援法による自立支援給付と地域生活支援事業 (P359), II-E-2 近年の精神障害者雇用をめぐる動き (P405)	
		共同生活援助(グループホーム)	精神看護学② 8章-I-A-2 障害者総合支援法による自立支援給付と地域生活支援事業 (P359)	112-PM-111
		地域生活支援事業	精神看護学① 7章-II-2-3 障害者総合支援法 (P251), 精神看護学② 8章-I-A-2 障害者総合支援法による自立支援給付と地域生活支援事業 (P359)	
		精神障害者保健福祉手帳	精神看護学② 8章-I-A-2 障害者総合支援法による自立支援給付と地域生活支援事業 (P359), I-B-1-2 支援を活用した日常生活の立て直し (P364)	110-PM-63 ▲

## 目標 V

### 精神疾患・障害がある者の人権と安全を守り、回復を支援する看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
5 安全な治療環境の提供	A. 安全管理(セーフティマネジメント) 112-AM-113	病棟環境の整備と行動制限	精神看護学② 7章-I-A 精神科看護における安全管理 (P258), I-B 病棟環境の整備 (P258), I-E 離院 (P268), I-F 隔離・身体拘束 (P270)	
		自傷行為、自殺企図、自殺予防	精神看護学② 7章-I-C 自殺・自殺企図・自傷行為 (P261)	112-AM-112
		攻撃的行動、暴力、暴力予防プログラム	精神看護学② 7章-I-D 攻撃的行動・暴力・暴力予防プログラム (P265), 9章-II-B-2-3-④-(2) 療環境 (P454)	112-PM-63 ▲ 110-PM-64
		災害時の精神科病棟の安全の確保	精神看護学② 7章-I-B-3 災害時の精神科病棟の安全管理 (P260), 統合と実践②災害看護学 4章-I-A 入院患者の避難行動 (P53), 7章-I-2 DPAT とは (P186)	
6 精神保健医療福祉の変遷と法や施策	A. 患者の権利擁護(アドボカシー)	当事者の自己決定の尊重	精神看護学① 7章-III-B-1 自己決定の尊重, 入院患者の基本的な処遇 (P270), 精神看護学② 6章-I-B-1 安全への支援-タイダルモデル (P235), 7章-II-A-2 慢性期にある統合失調症をもつ人への看護 (P283)	
		入院患者の基本的な処遇	精神看護学① 7章-III-B 入院患者の処遇と権利擁護 (P270)	
		精神医療審査会	精神看護学① 7章-III-B-3-3-① 精神医療審査会 (P277)	
		隔離、身体拘束	精神看護学① 7章-III-B-3-1 隔離 (P273), III-B-3-2 身体的拘束 (P275)	112-PM-63 111-PM-68
B. 精神保健医療福祉の変遷と看護	108-PM-63	諸外国における精神医療の変遷	精神看護学① 7章-I-A 諸外国における精神医療の歴史と現在 (P230), 精神看護学② 1章-IV-1 精神障害を社会がどのようにみてきたかを概観する (P15), IV-4 リカバリー概念: 当事者の主体的な自分の人生への関与 (P19), 4章-III-1-1 精神科リハビリテーションとは (P171), III-1-2 精神科リハビリテーションのあり方 (P171), III-3-1 精神科デイケアとは (P177), 7章-I-F-2 身体拘束時の安全対策 (P271), I-F-2-コラム 隔離・身体拘束使用防止のための介入技術である「主要6戦略」 (P273), 8章-I-B-2-3-④ ACT (P367), 8章-I-C-1-2 クラブハウス (P370), 8章-I-D 当事者の力を生かす相互支援 (P371), 9章-I-A-1 コンサルテーション・リエゾン精神医学とリエゾン精神看護学の発展 (P428)	



大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
6 精神保健医療福祉の変遷と法や施策	B. 精神保健医療福祉の変遷と看護	日本における精神医療の変遷	<b>精神看護学①</b> 7章-I-B 日本における精神医療の歴史と現在 (P240), <b>精神看護学②</b> 8章-I-A-1 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム (P356), 9章-I-A-1 コンサルテーション・リエゾン精神医学とリエゾン精神看護学の発展 (P428)	
		精神保健医療福祉における看護師の役割	<b>精神看護学①</b> 序章-IV-B 精神看護の役割の広がり (P20), IV-C 精神看護の専門性 (P21), 7章-I-B-3-3 精神医療福祉における看護師の役割 (P248), <b>精神看護学②</b> 8章-II-B 多職種連携による地域生活支援 (P381), II-C 長期入院患者の地域生活への移行支援 (P386), II-D 訪問看護をととした地域生活支援 (P396), III-column 精神障害の親をもつ子どもへの支援 (P416)	
	C. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)の運用 108-AM-68	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)の基本的な考え方	<b>精神看護学①</b> 7章-I-B-3-1-⑤ その後 (P246), II-1 何のために法律や制度を学ぶのか (P249), II-2-1 精神保健福祉法 (P250), III 精神保健福祉法における医療の形態と患者の処遇 (P256)	109-AM-67 108-AM-69
		入院形態	<b>精神看護学①</b> 7章-III-A-2 任意入院 (P258), III-A-3 措置入院 (P260), III-A-4 医療保護入院 (P261), III-A-5 応急入院 (P267)	112-AM-88 110-PM-81 ▲ 109-PM-69
	精神保健指定医	<b>精神看護学①</b> 7章-III-A-1 精神保健指定医, 特定医師 (P257)	110-AM-63	
7 精神保健医療福祉における多職種連携	A. 多職種連携と看護の役割 110-AM-60 ▲	連携する他職種(医師、歯科医師、保健師、助産師、精神保健福祉士、作業療法士、介護支援専門員、精神保健福祉相談員、ピアサポーター、薬剤師、公認心理師)の役割	<b>精神看護学②</b> 4章-III リハビリテーション療法 (P171), IV-4-3 専門職連携 (P189), 8章-I-B-2-3-③ 訪問看護 (P367), I-D-2 ピアサポート、ピアスタッフ (P372), II-A 地域生活支援における保健師の役割 (P377), II-B 多職種連携による地域生活支援 (P381), II-C-4-1-③ 各専門職による情報収集とアセスメント (P390), II-C-4-2-① 病院内の多専門職チームによる情報共有と退院支援計画の立案 (P391), II-C-5 退院支援の事例 (P394), 9章-II-B-2-3-① 多職種連携によるチーム医療 (P450), 9章-II-B-2-3-③ 共通評価項目によるアセスメント基準の共有 (P452)	111-PM-110
		多職種との調整・連携における看護の役割	<b>精神看護学②</b> 9章-II-B-2-2 多職種連携における看護師の立ち位置 (P465)	
	B. コンサルテーションと連携	コンサルテーション事例の特徴	<b>精神看護学②</b> 9章-I-B-2 コンサルテーション(相談) (P433)	
		コンサルテーションを担う職種の役割	<b>精神看護学②</b> 9章-I-B-2 コンサルテーション(相談) (P433)	
	リエゾン精神看護	<b>精神看護学②</b> 9章-I-B リエゾン精神看護活動 (P430)	108-PM-60	